

2022年11月2日

IAEA などが共同し海水等の採取を行います

福島第一原子力発電所の ALPS 処理水の安全性に関する国際原子力機関（IAEA）のレビューの一環として、2022年11月7日から14日にかけて、IAEA 海洋環境研究所の専門家ならびに IAEA から指名された第三国（フィンランド及び韓国）の分析機関の専門家が来日し、環境省、原子力規制委員会、当社と共同で、福島第一原子力発電所周辺の海域から海水などの試料採取が行われます。

共同で採取した試料は分割し、IAEA 及び日本の各機関が個別に分析を行い、IAEA が分析結果の比較評価を行います。なお、IAEA の本取組は、日本で行われている ALPS 処理水に係る海域モニタリングの結果の裏付けを行うために、2014 年度より実施されている IAEA と国内の各分析機関による海域モニタリングの分析機関間比較に加え、本年から新たに実施されるものです。

当社は、今後も引き続き、ALPS 処理水に関するデータの信頼性や透明性を確保し、国内外の皆さまに向けて適時お伝えしてまいります。

<詳しくはこちら>

環境省：https://www.env.go.jp/press/press_00758.html

原子力規制委員会：https://www.nra.go.jp/news_only/20221031_01.html

IAEA（英文）：<https://www.iaea.org/press>